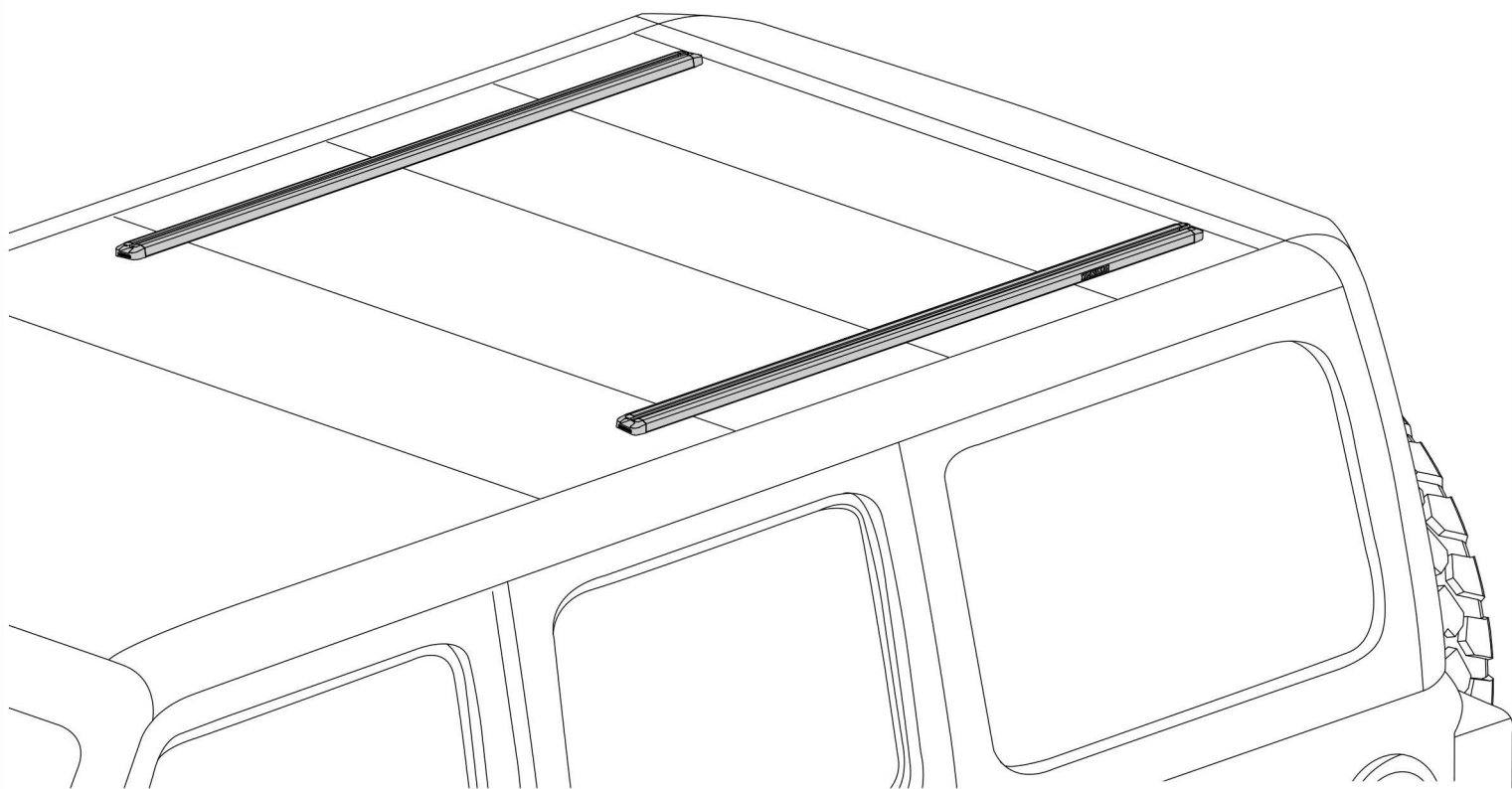
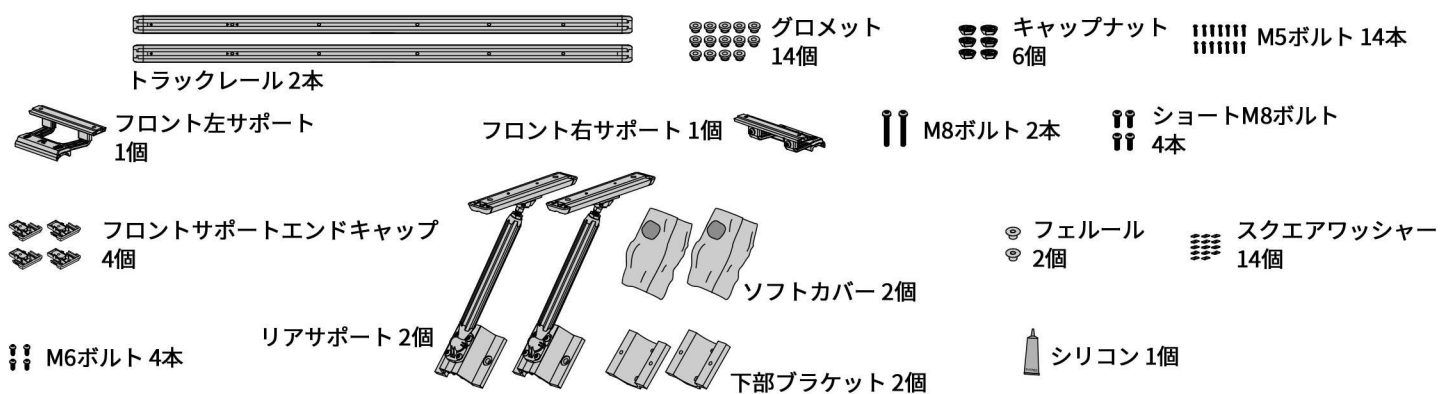




セット内容



必要なツール

(別途ご用意ください。)



ドリル

1/4ドリルビット



10mmソケットレンチ



消えないペン



メジャー



17mmオープンエンドレンチ



10mmオープンエンドレンチ

付属ツール



ドリルストップ 1個

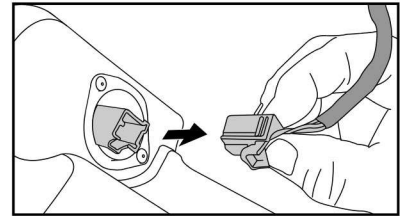
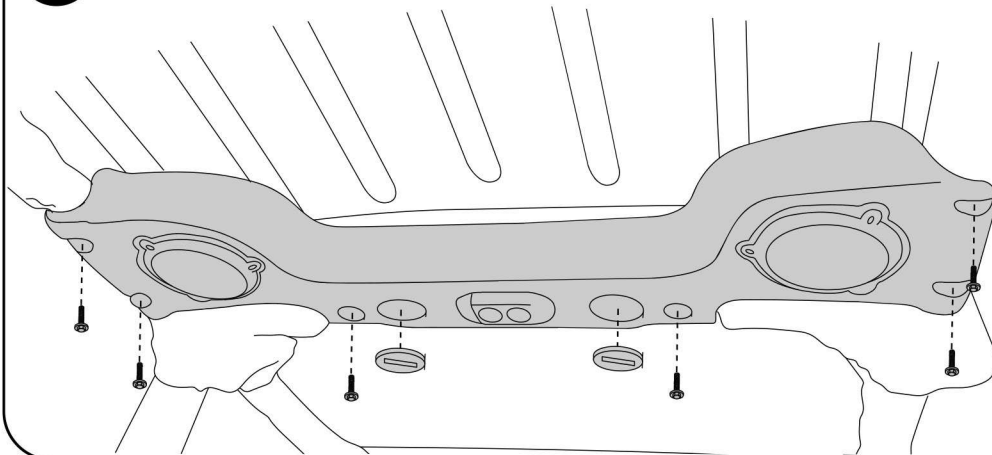


レンチ 2個

耐荷重

オフロード：最大150kg

1 スピーカーコンソールを取り外します。



なるべく2人で行ってください。
スピーカーコンソールのノブを反時計回りに回して取り外します。
10mmソケットレンチを使用し、スピーカーコンソールを固定している6本のボルトを取り外します。
車両右側にある配線コネクタを抜き、スピーカーコンソールを取り外します。

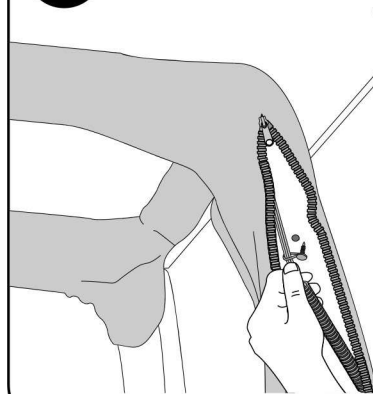
2 ロールケージカバーのファスナーを開けます。



リア側左右の支柱の
ロールケージカバーの
ファスナーを開けます。

2X

3 配線ハーネスホルダーを取り外してください。



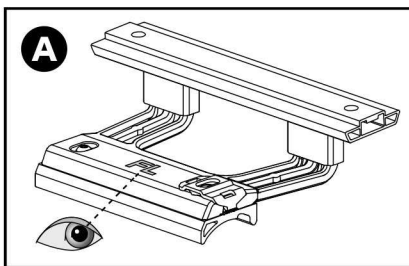
リアロールケージの右側の支柱から、プラスチック製の配線ハーネスホルダーを慎重に引き抜きます。

注意：
プラスチック製のこじ工具、または先端が細いペンチが必要になる場合があります。

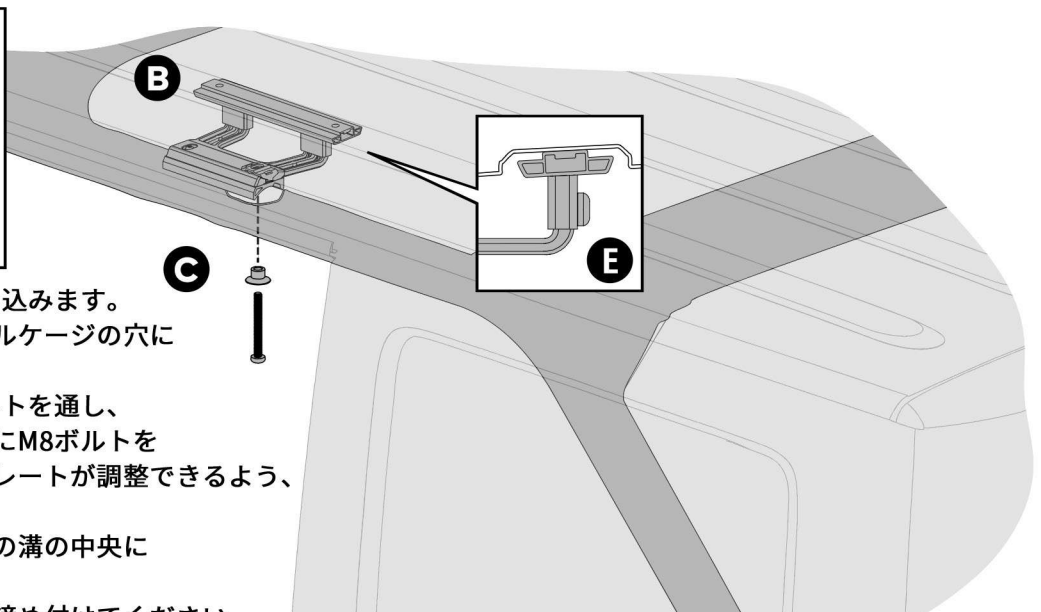
2X

4 フロントサポートを取り付け、調整します。

- ①「FL」のマークがあるフロント左サポートから取り付けを行います。
②車両左側、上部ロールケージのカバーの切り欠き部の上に、フロント左サポートを配置します。フロントサポートにあらかじめ取り付けられているナットを、ロールケージの穴に合わせてください。
注意：ロールケージの穴にボルトを通すには、切り欠き部分でロールケージカバーを引っ張る必要があります。



- ③フェールとM8ボルトを下から差し込みます。
図のように、切り欠き部分からロールケージの穴に通してください。
④フロントサポートのナットにM8ボルトを通し、フロントサポートが固定される程度にM8ボルトを締め付けますが、サポートの上部プレートが調整できるように、適度な緩みを残してください。
⑤上部プレートが、図のようにルーフの溝の中央に来るように調整してください。
⑥レンチを使用して、ボルトを適度に締め付けてください。
⑦フロント右サポートも同様に行ってください。

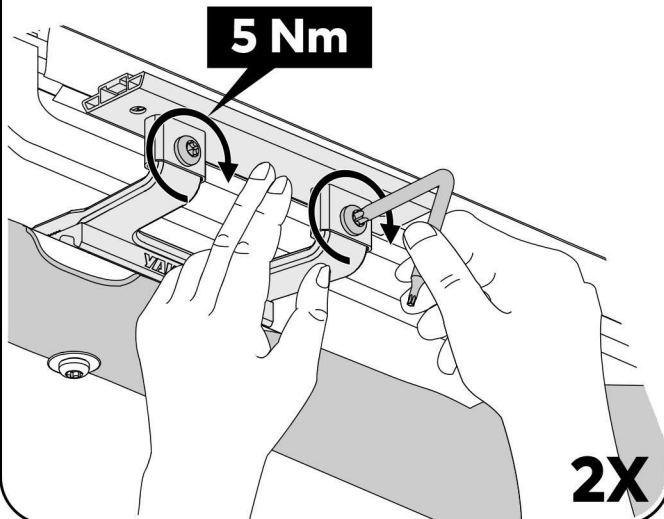


注意：上部プレートの穴はリア側のみを使用します。

2X

5 フロントサポートをルーフに固定します。

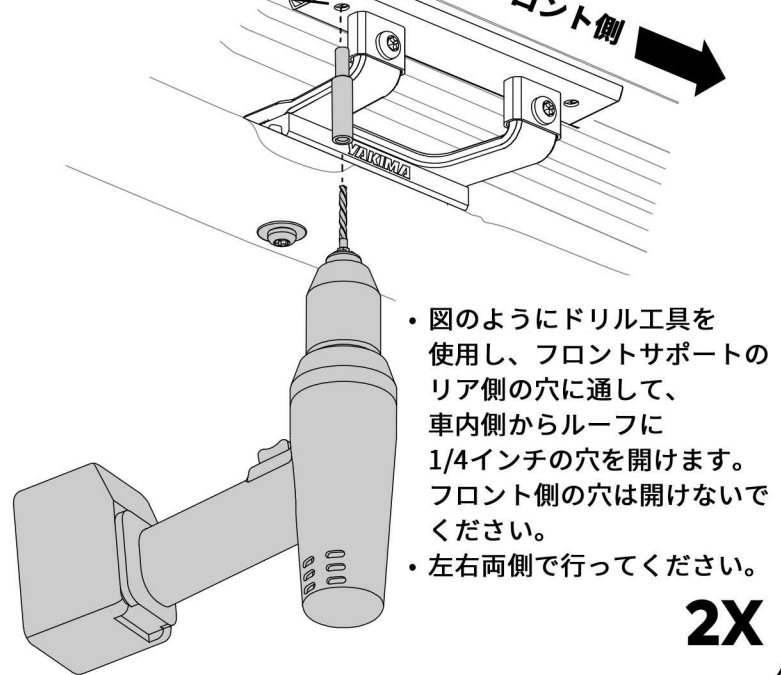
- ・フロントサポートの上部プレートが、ルーフにしっかりとあたるように押し付けながら、調整ボルトを5Nmのトルクで締め付けます。
- ・左右両側で行ってください。



6 リア側のみドリルで穴を開けます。

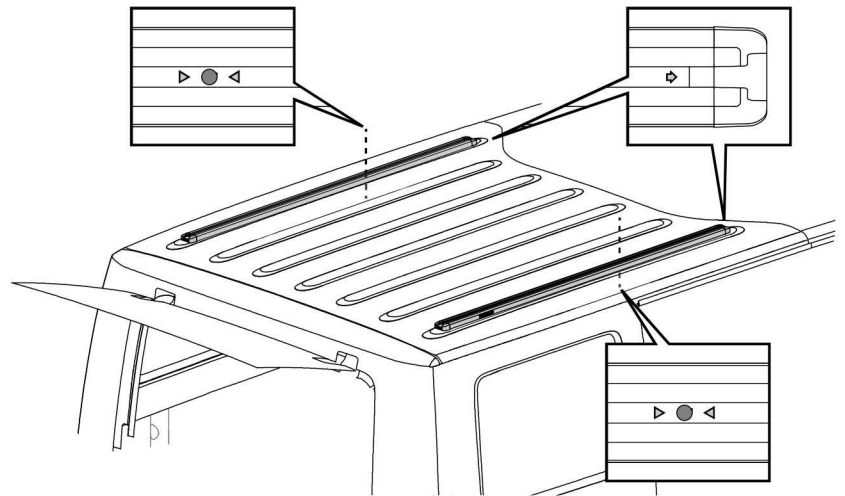
リア側の穴

フロント側



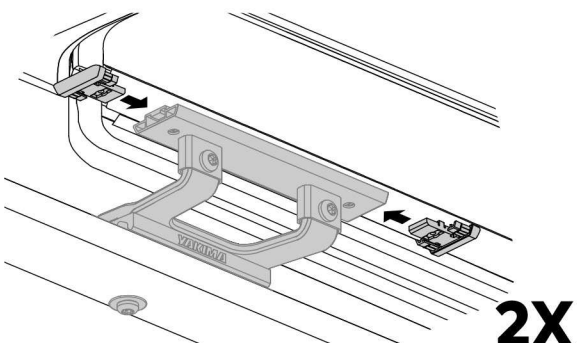
7 トラックレールを取り付けます。

トラックレール上部の矢印の位置を確認し、矢印がフロント側を向くように設置します。トラックレールの右図のマークがついた穴と手順⑥で開けた穴の位置を合わせてください。



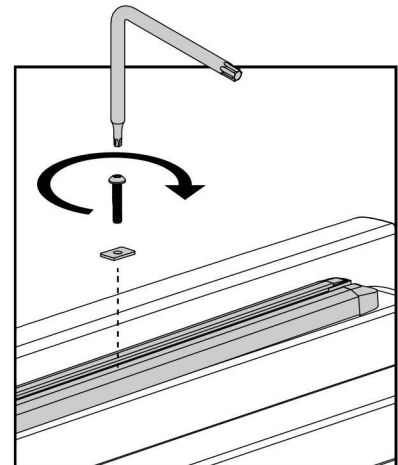
8 フロントサポートにエンドキャップを取り付けます。

各フロントサポートに、2つのエンドキャップを完全にはまるまで押し込んで取り付けます。



9 取り付け金具で固定します。

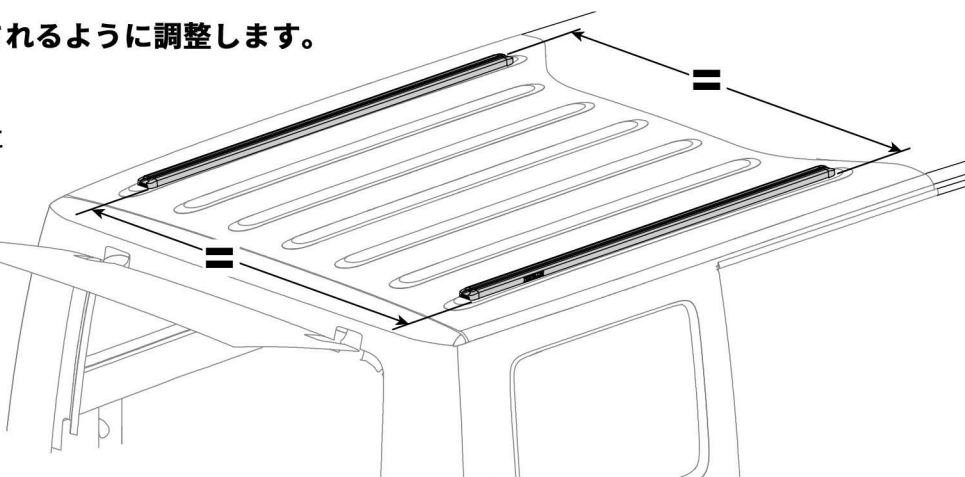
- ・ M5ボルトを、スクエアワッシャー、トラック、ルーフ、フロントサポート、フロントサポートのエンドキャップの順番に差し込みます。
- ・ しっかり締め付けますが、締め過ぎないでください。



2X

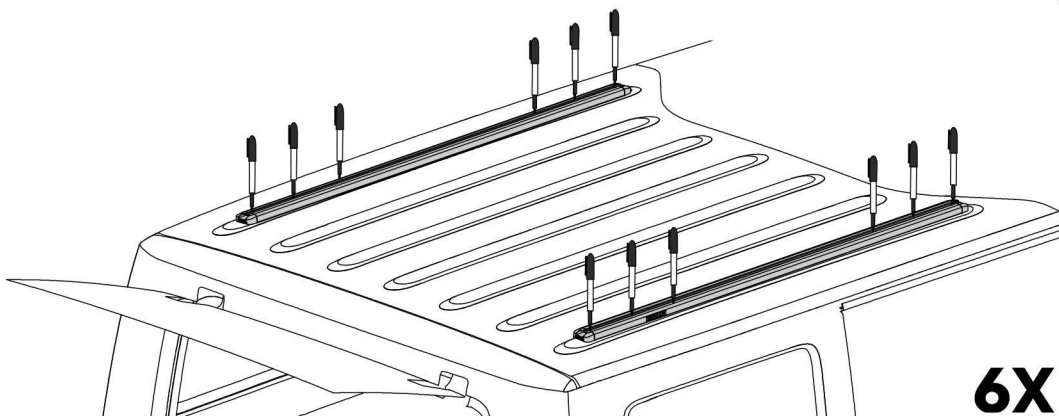
10 トラックレールが直角に配置されるように調整します。

トラックレール同士が平行になるように配置します。
対角線を測定し、トラックレールが直角に配置されていることを確認してください。
測定値を確認してから、次の手順に進んでください。



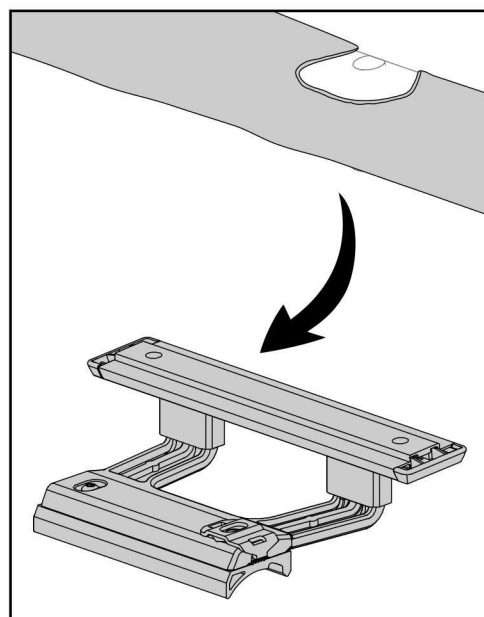
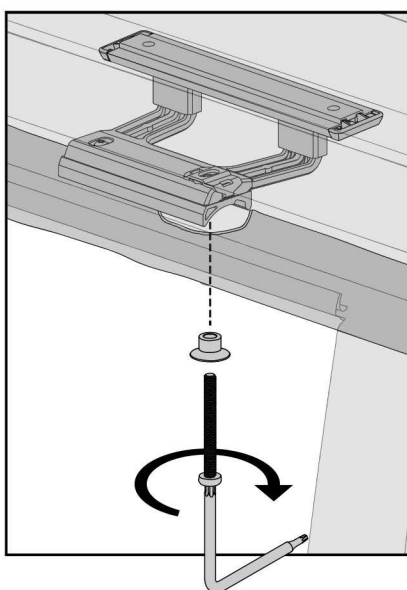
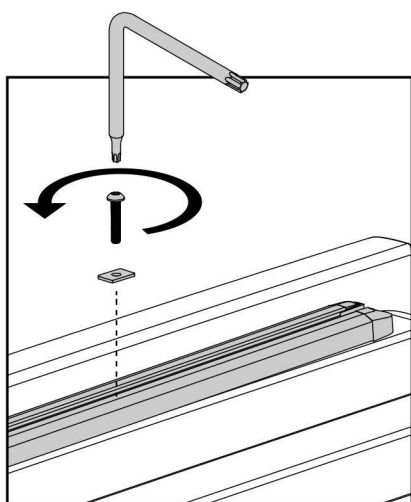
11 穴の位置に印をつけます。

トラックレールをガイドにして、ルーフの穴を開ける位置に、ペンで印をつけます。



12 フロントサポートを取り外します。

- レンチを使用し、M5ボルトとスクエアワッシャーを取り外してください。
- レンチを使用し、M8ボルトとフェールを取り外してください。
- フロントサポートを取り外してください。



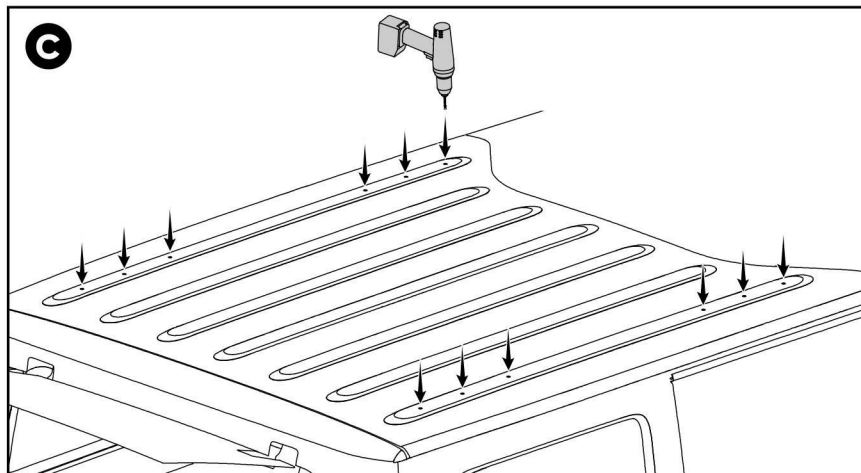
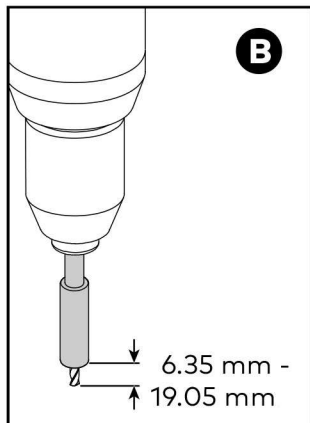
2X

13 残りの穴を開けます。



トラックを貫通して
穴を開けないでください。

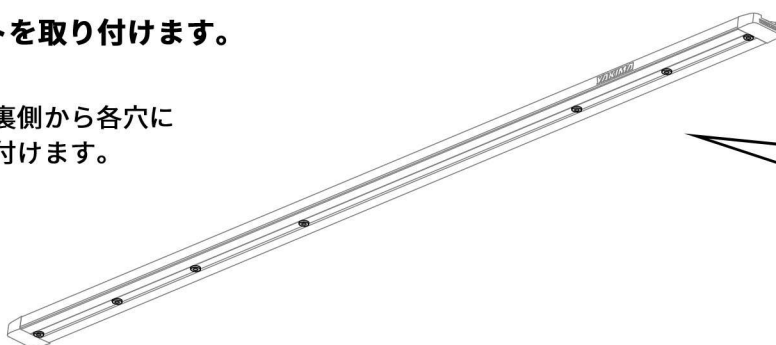
- ①車両からトラックレールを取り外します。
- ②ドリルストップを使用し、ドリルがドリルストップから約1/4インチ][6.35mm)突き出るようにしてください。
- ③手順①で印をつけた箇所に、車両の外側から穴を開けます。
- ④ドリル加工で生じた削りくずは、丁寧に取り除いてください。



12X

14 グロメットを取り付けます。

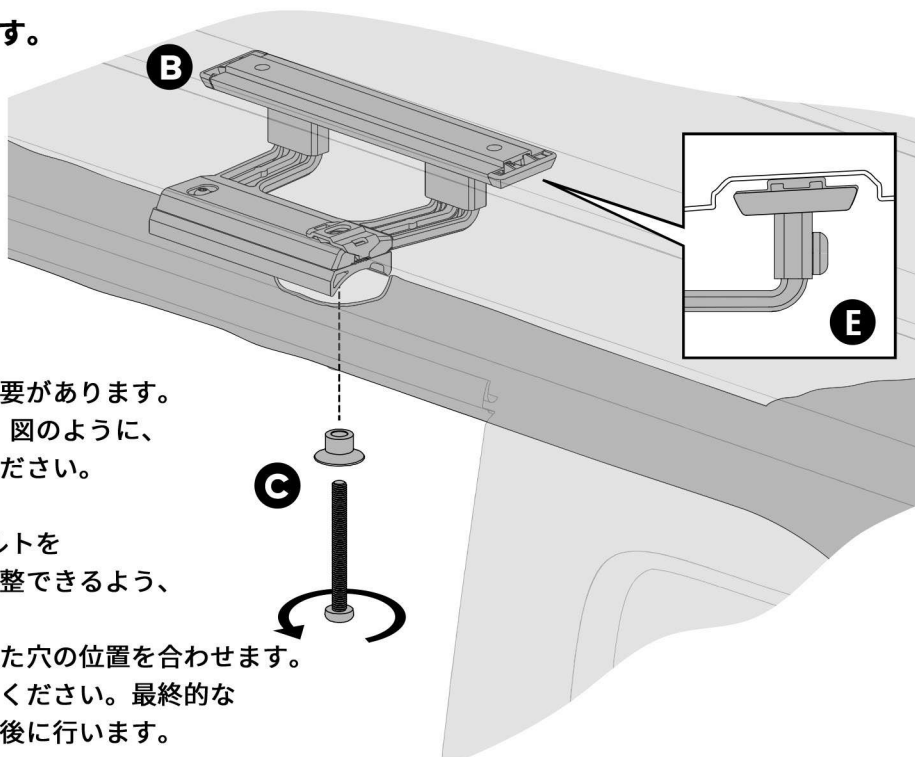
トラックレールの裏側から各穴に
グロメットを取り付けます。



14X

15 フロントサポートを再度取り付けます。

- ①「FL」のマークがあるフロント左サポートから取り付けを行います。
- ②車両左側、上部ロールケージのカバーの切り欠き部の上に、フロント左サポートを配置します。フロントサポートにあらかじめ取り付けられているナットを、ロールケージの穴に合わせてください。
- 注意：ロールケージの穴にボルトを通すには、切り欠き部分でロールケージカバーを引っ張る必要があります。
- ③フェールとM8ボルトを下から差し込みます。図のように、切り欠き部分からロールケージの穴に通してください。
- ④フロントサポートのナットにM8ボルトを通し、フロント左サポートが固定される程度にM8ボルトを締め付けますが、サポートの上部プレートが調整できるよう、適度な緩みを残してください。
- ⑤フロントサポートのリア側の穴とドリルで開けた穴の位置を合わせます。
- ⑥レンチを使用して、ボルトを適度に締め付けてください。最終的な締め付けは、すべての金具の取り付けを終えた後に行います。
- ⑦フロント右サポートも同様に行ってください。

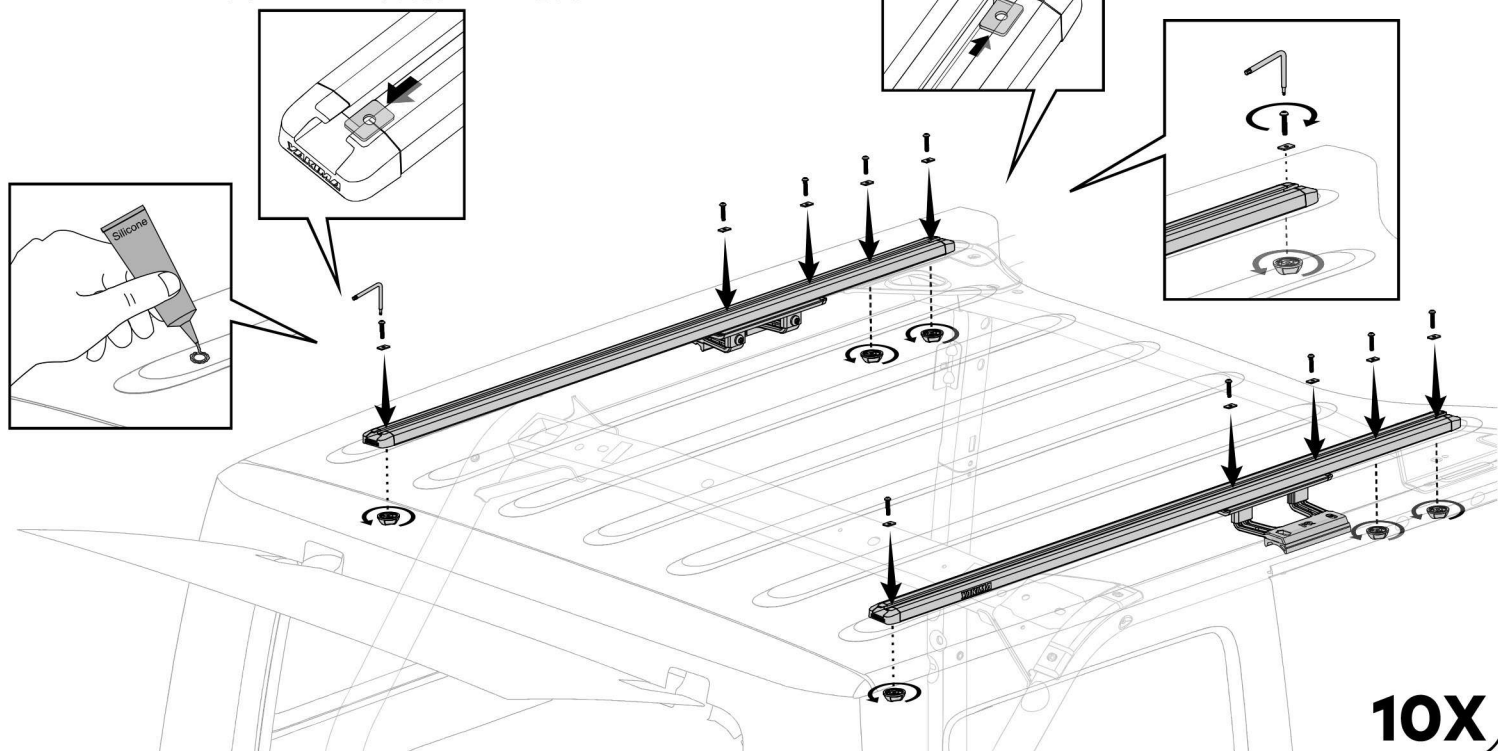


注意：上部プレートの穴はリア側のみを使用します。

16 トラックレールを再度取り付けます。

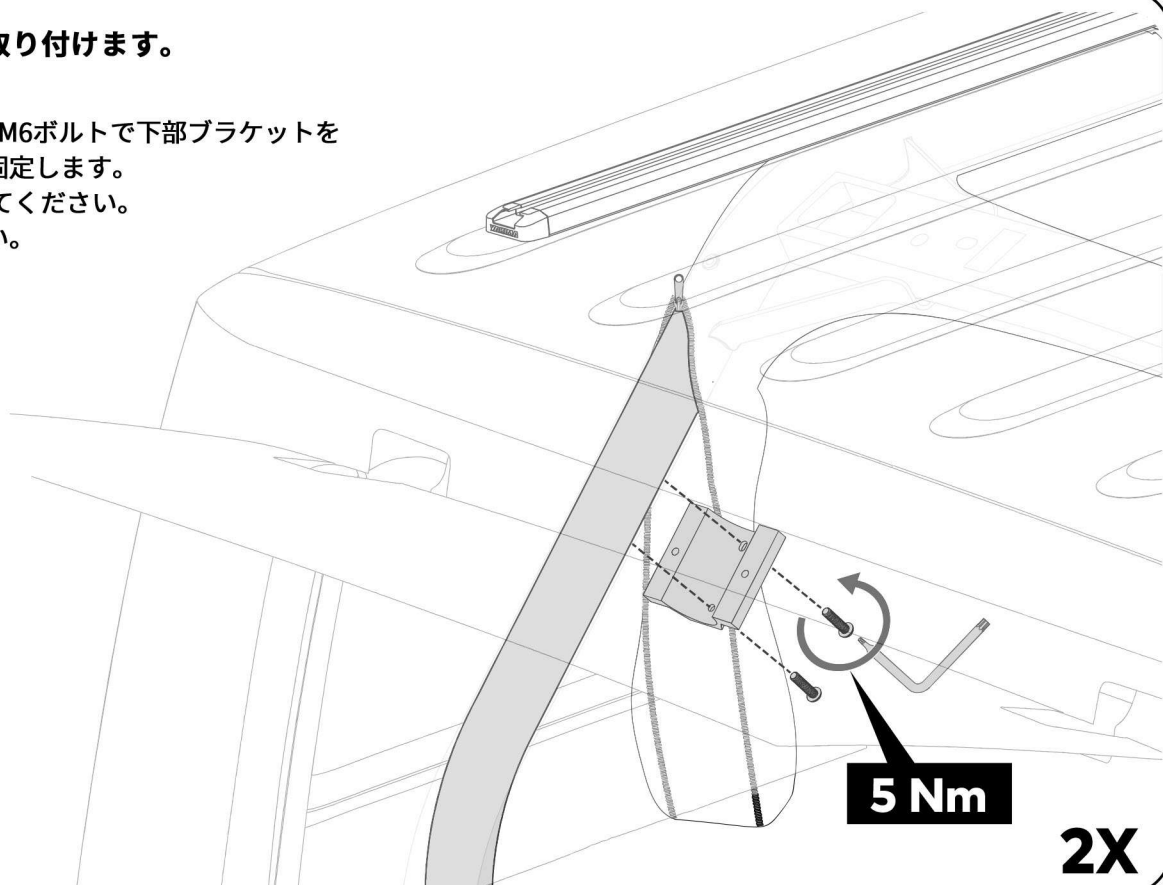
- ルーフの穴を囲うように、シリコンを細い線上に塗布します。
- 10本のM5ボルトをスクエアワッシャーを通し下図の位置に差し込み、トラックレールを取り付けます。
フロントサポートに差し込まないボルトについては、図のように6個のキャップナットを使用してボルトに固定してください。この時点では、ボルトはまだ完全に締め付けしないでください。

注意：トラックレールのエンドキャップの部分を取り付ける際、穴を合わせてボルトを取り付けるために、スクエアワッシャーをエンドキャップの下に半分押し込む必要があります。



17 下部ブラケットを取り付けます。

- レンチを使用して、2本のM6ボルトで下部ブラケットをロールケージのねじ穴に固定します。
5Nmのトルクで締め付けてください。
- 左右両側で行ってください。



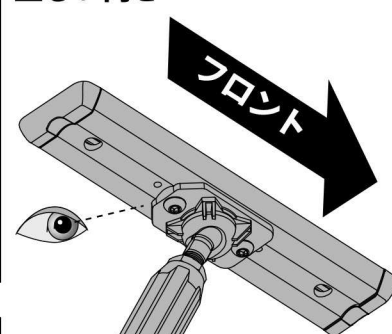
18 リアサポートを取り付けます。

A

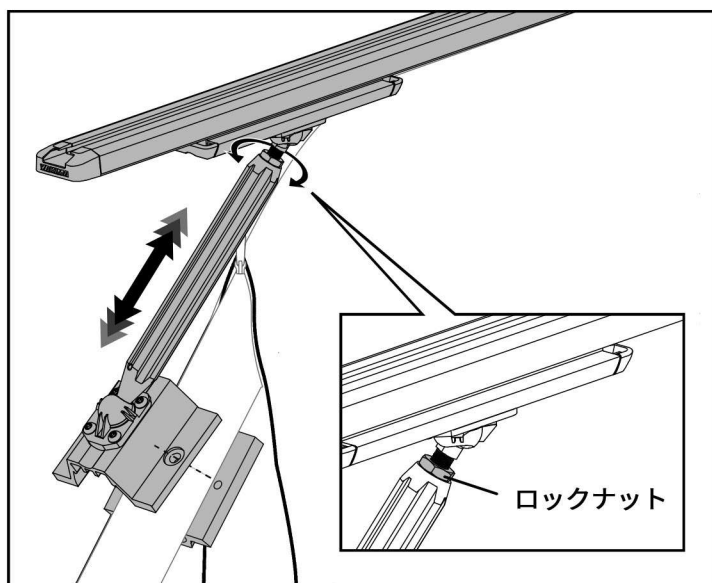
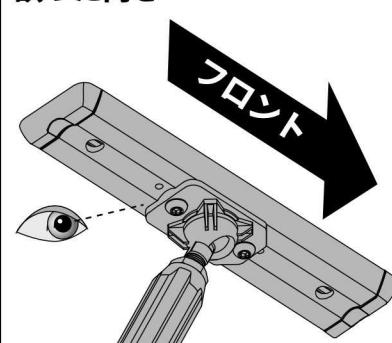
右の図を参考に、リアサポート上部のボールハウジングの正しい向きを確認してください。M5 ボルト2 本とスクエアワッシャーを使用し、残りの開いている穴にトラックレールとリアサポートを固定します。3Nmのトルクで締め付けてください。注意：なるべく2人で行ってください。

3 Nm

正しい向き



誤った向き

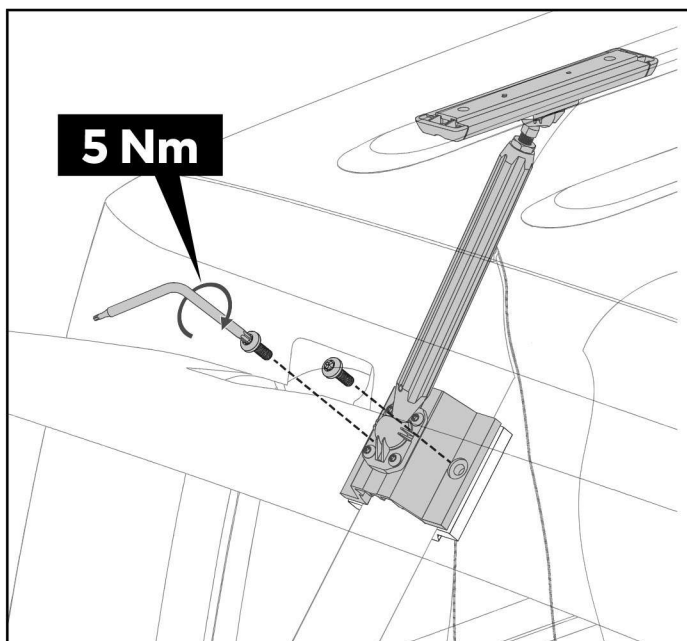


ロックナット

B

17mmのオープンエンドレンチを使用し、リアサポートのストラットにあるロックナットを緩めます。ストラットを手で回して、リアサポートの下部を上下に調整し、穴を手順⑪で取り付けた下部ブラケットの穴と合わせてください。必要に応じて、ストラットを回転させる際に、上部ボールジョイントに10mmのオープンエンドレンチを当ててください。ロックナットを締め直します。

5 Nm



C

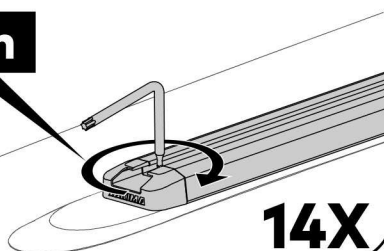
2本のショートM8ボルトを取り付けて、リアサポートを下部ブラケットに取り付けます。レンチを使用し、ボルトを5Nmのトルクで締め付けます。

D 左右両側で行ってください。

19 M5ボルトを完全に締め付けます。

レンチを使用し、
トラックを固定している
14本のM5ボルト全てを
3Nmのトルクで
締め付けてください。

3 Nm

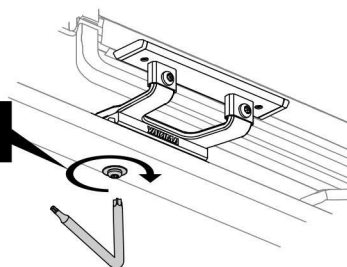


14X

20 M8ボルトを完全に締め付けます。

レンチを使用し、
フロントサポートを
固定している
M8ボルトを
10Nmのトルクで
締め付けてください。

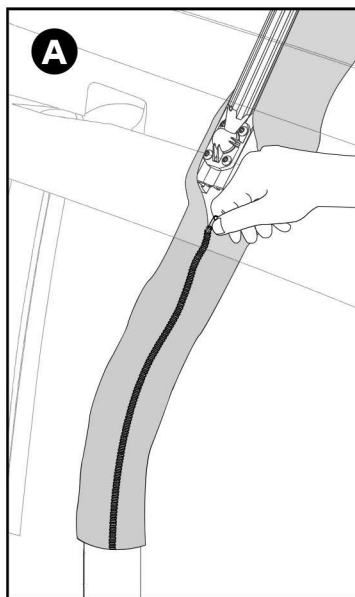
10 Nm



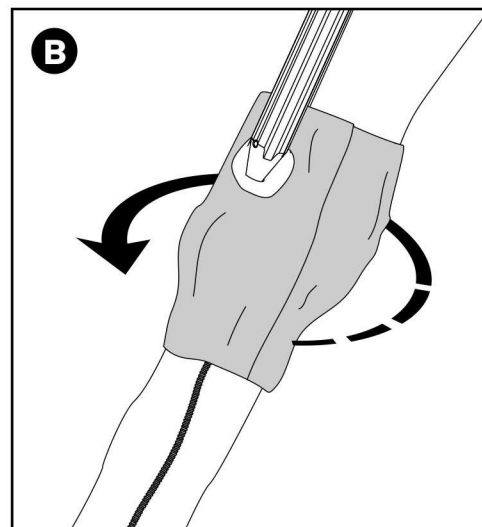
21 ロールケージカバーを閉じ、ソフトカバーを取り付けます。

①手順②で開けたロールケージカバーの
ファスナーを、できる限り閉めて
ください。

②露出した部分にソフトカバーを
巻き付け、しっかりと固定します。
マジックテープで留めます。



A



B

2X

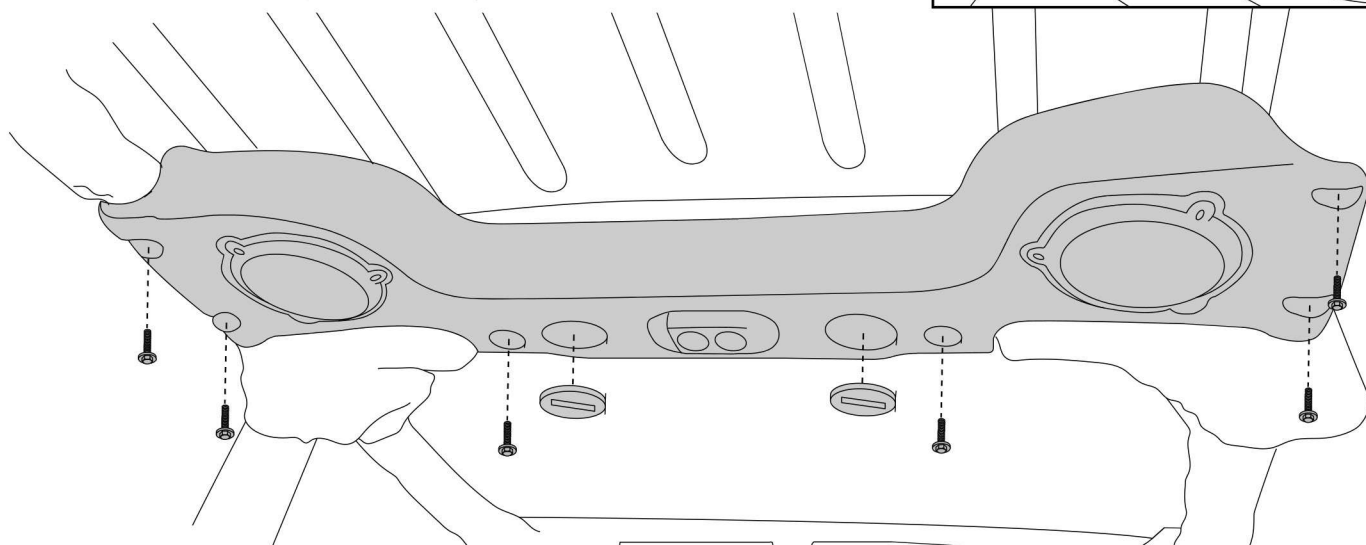
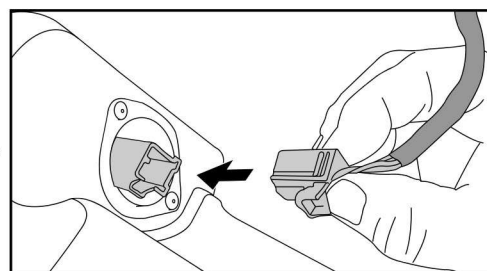
22 スピーカーコンソールを再度取り付けます。

なるべく2人で行ってください。

スピーカーコンソールを持ち上げ、手順①で外したコネクターを差し込みます。

10mmのソケットレンチを使用して、手順①で取り外した6本のボルトを取り付けます。

ノブを時計回りに取り付け、完全に固定されるまで締め付けてください。



注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従い行ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしての取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のような時に確認してください。

- ・出かける前
- ・ラックまたは積載物を載せた後
- ・短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・長時間の移動では定期的に
- ・悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で保管してください。(冬期は特に)
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモonium添加剤が入っている液体は使用しないでください。
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外のスペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それによって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

YAKIMA®
TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

 **AUTOPROZ**

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>